

第5回総合戦略策定検討委員会

議事要旨

日時：令和3年8月17日（火）
午後6時30分～8時00分
会場：市民ホール

次 第

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議題
 - ①令和元年度総合戦略の総評について
 - ②令和2年度総合戦略の基本目標における数値目標の達成度について
 - ③次期総合戦略における基本目標・基本方針について
 - ④今後のスケジュールについて
- 4 その他
 - ①第6回昭島市総合戦略策定検討委員会について
- 5 閉会

配付資料

【配付資料】

- 1 資料1 総評（令和元年度）について
- 2 資料2 令和2年度 総合戦略の基本目標における数値目標の達成度
- 3 資料3 基本目標・基本方針
- 4 資料4 昭島市総合戦略の全体像
- 5 資料5 令和3年度 総合戦略策定スケジュール（案）

出席者（敬称略）

委員長・・・松本祐一（多摩大学総合研究所）

副委員長・・・永田弘行（立川公共職業安定所）

委員・・・水野宏一（昭島市商工会）、勝見真之（連合多摩中央地区協議会）、樽松洋（公募市民）、富名則之（公募市民）、石川くに子（公募市民）、佐藤良絵（公募市民）、

事務局・・・萩原政策担当部長、村山企画政策課長、滝瀬総合基本計画担当課長、萩原企画調整担当係長、森田企画調整担当係長

傍聴者・・・1名

1 開会

事務局・・・これから、第5回総合戦略策定検討委員会を始めさせていただきます。本日は、お忙しいところ昭島市総合戦略策定検討委員会ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

東京都におきましては、8月15日から8月31日までの間、「緊急事態宣言措置」が適用され、期間の延長も検討をされているところです。現下のこうした状

況を踏まえまして、感染拡大防止の観点から、なるべく短時間で終了ができますよう、スムーズな運営を心がけたいと存じます。申し遅れましたが、私は4月の人事異動で、前任の青柳から引き継いで担当をすることになりました村山と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、委員におかれまして、人事異動の関係で変更がありましたため、ここでお知らせいたします。官公庁の職員の区分として、立川公共職業安定所から推薦をされておりました大塚委員に替わり、後任といたしまして、立川公共職業安定所職業相談部長に就任された永田弘行様を新たに委員として委嘱させていただきます。委嘱状につきましては、大変恐縮でございますが、机上への配付へ代えさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。永田委員の前任大塚委員につきましては、本委員会の副委員長でございました。新たな副委員長につきましては、後任でございます、永田委員をお願いいたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。ここで、副委員長になられました、永田委員に自己紹介をお願いいたします。

永田委員・・・ はじめまして、ハローワーク立川職業相談部長の永田と申します。行政の立場、そして昭島市民でもございますので、市民の立場としても、お役に立てればと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局・・・ ありがとうございます。それでは、委員会を開催したいと思いますので、この後の進行につきましては、委員長よろしくお願いいたします。

2 委員長あいさつ

委員長・・・ 改めまして、皆さんこんばんは。これより第5回総合戦略策定検討委員会を開催いたします。先ほど事務局から説明があったとおり、何度目の緊急事態宣言なのだろうかと思います。また、期間延長という話も出ていまして、非常に先が見えない状況が続いている中で、次期総合戦略を策定していくことは、皆さんにとって難しいという部分かもしれません。現状とこの先の未来を、どのようにしていけば良いのかを前向きに考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。では早速、進めてまいりたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。それでは、事務局より本日の資料の説明をお願いします。

事務局・・・ 本日使用する資料につきましては、机上配付をしております次第と、事前にご送付をさせていただいた資料1から5になりますが、資料に不足などはございませんでしょうか。ここで、事務局から一部資料の修正があります。資料3の基本目標4について、文章2行目、基本目標2「昭島の魅力を再発見する」の部分を「昭島の魅力を発信する」と修正をお願いいたします。

また、第4回委員会の議事要旨につきましては、ご覧いただいているかと思いますが、何かお気付きの点などありましたら、お申しつけください。

委員長・・・ 資料はよろしいですか。議事要旨（案）につきましては、何か変更点などありますでしょうか。特になければ、こちらを第4回の議事要旨とさせていただきます。

3 議題

(1) 令和元年度総合戦略の総評について

委員長・・・ 次に、本日の次第の3、議題の①「令和元年度総合戦略の総評」と、議題②「令和2年度総合戦略の基本目標における数値目標の達成度」について、事務局より説明をお願いします。

事務局・・・ それでは、資料に沿って説明をさせていただきますので、まずは資料1をご用意ください。「令和元年度総合戦略の総評」につきましては、1ページ目に、令和元年度の総評として、内容を記載しております。概要でございますが、総合戦略の策定につきましては、総合基本計画との整合性を図ることや、新型コロナウイルス感染症の影響によりまして、合計で2年間、延伸することとなりました。総合戦略では、基本目標における数値目標の達成・不達成においては、各事業の効果を紐づけることは難しく、また、今回は新型コロナウイルス感染症が、一部の事業に影響を及ぼす結果となりました。このことは、コロナ禍における新しい日常への対応が必要と言えます。現在、昭島市では転入超過となっており、この強みを最大限活かしながら、中期的な視点に立ち、達成状況の検証を行う中で、事業改善を図る必要があります。当然、事業のKPI達成状況は大事ではありますが、そのみに捉われることなく、各事業の効果をよく分析・検証する中で、PDCAサイクルを行うことで、より効果的な事業の取組を推進していくことが大事であります。総評については、以上のような内容になりますので、ご確認いただければと思います。

続いて、お捲りいただきまして、2ページ目以降の、「基本目標及び数値目標における評価について」ですが、こちらは既に前回の委員会で説明をさせていただいておりますので、ここでは省略させていただきます。また、4ページ目の下部分にありますように、「基本目標1の総評と数値目標の評価」とありますが、こちらは各基本目標の後半部分に、このように文章で記載をしております。事前送付させていただいておりますので、この場では、割愛させていただき、お気づきの点がございましたら、後程、お尋ねいただければと思います。以上が、議題①「令和元年度 総合戦略の総評」についての説明になります。

(2) 令和2年度総合戦略の基本目標における数値目標の達成度について

事務局・・・ 続きまして、議題②「令和2年度総合戦略の基本目標における数値目標の達成度について」になりますが、資料2の1ページ目からご覧ください。

基本目標1「安定した雇用を創出する」、におけるデータにつきましては、国勢調査より作成をしているため、2ページまでは先ほどの資料1と同内容となっています。よって、ここでの説明は、省略させていただきます。3ページ目の有効求人倍率については、2020年になりここではじめて全国、東京都ともに数字が下がっております。前年比、全国では0.25ポイント、東京都では0.34ポイントの減少となっております。減少の要因としましては、新型コロナウイルス感染症の影響が主にあると思われます。今後は、新型コロナウイルス感染症の対策を踏まえて、引き続き仕事と子育ての両立を図ることができる環境整備、大手・中核企業との連携、中小規模事業者支援を推進するなどの取組が必要と考えられます。

続いて、4ページ目、基本目標2「昭島へ新しい人の流れをつくる」についてですが、数値目標の「市民意識調査における住み続けたい市民の割合の増加を目指す」については、先程の資料1と同内容となっております。その下の「市への

来訪者数の増加を目指す」という数値目標については、滞在率は、平日休日とも同期間で比べ増加となっております。この増加につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、在宅勤務が増えたことや外出自粛によるものと思われる。従いまして、この数字に甘んじることなく、引続き、コロナの動向を注視しながら感染対策をしっかりと行いつつ、人を呼びこむ事業・施策展開について検討をしていくことが重要であると考えます。

続いて、5 ページ目、基本目標 3 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」についてですが、5 つの数値目標があります。まず、「婚姻数の増加を目指す」については、前年比 130 人の減少となっております。平成 30 年度と令和 2 年度の婚姻数が少なく、令和元年度が多いのは、元号改元による「令和婚」によるためと思われます。次に、「出生数の増加を目指す」については、出生届出数は 35 名減少し、在住出生数は 33 人の減少となっており、いずれも 2 年連続の減少となっています。次に「多子世帯の増加を目指す」については、20 人減少しており、こちらも 2 年連続の減少となっています。次に「保育所入所待機児童の解消を目指す」については、待機児童 15 人で、12 人の減少となっています。参考として、0 歳から 5 歳児の人数、保育園の申込者数を記載いたしました。0 歳から 5 歳児の人数は昨年度比 179 人の減少となり、全体として減少傾向にあるものの、「保育園申込者数」については依然として高い値で推移しており、申込み過多の状況となっています。このことは、共働きの世帯で、子育て期においても働く母親が増えてきているとの見方もでき、目標数値の達成に向けて、引き続き仕事と子育てが両立できる環境を整える必要があると考えられます。最後に、「学童クラブ入所待機児童の解消を目指す」については、今回も待機者 0 人となっており、目標を達成しています。

続きまして、4 ページ下部分の基本目標 4 についてですが、数値目標「転出者数の減少、転入者数の増加を目指す」と掲げており、今回も、718 件の転入者増という結果となっています。立川基地跡地の開発により、今後の数年間は現在の人口規模を維持するものと人口ビジョンではみえています。しかしながら、開発が落ち着く令和 7 年度以降は、国や東京都と同じようなカーブを描きながら、人口減少が加速していく流れと考えていますので、今後人口を維持していくためにも、本市に住み続けたいと思われる取組を進めて行くことが大事と考えられます。

以上が、議題②「令和 2 年度 総合戦略の基本目標における数値目標の評価」についての説明となります。よろしくお願いいたします。

委員長・・・ ありがとうございます。既に事前配付でお読みいただいているかと思いますが、何か聞きたいことや質問などいかがでしょうか。前回の皆さんからのご意見をいただいて、反映させた形で書いていただいているかと思います。令和 2 年度は、元年度と比較すると同じような傾向であるのと、コロナの影響が少しずつ出てきて、それが令和 2 年度は特に色濃く出ているのかなと思います。

水野委員・・・ 2 点ほどお聞きします。1 点目は、総評は今後、こういった形で皆さんの目にとまっていくのか。2 点目は、資料 2 の達成度については、本委員会のためだけの資料なのか。

資料 1 の総評ですが、総括の部分であり大きくまとめたところで、細かい話にはなりますが、1 段目の、次期総合戦略の策定については、総合基本計画の策定次期と合わせて 1 年延伸したけど、本当は総合戦略の策定期間はいつだったのか、

1年延伸したからいつになったのか、最終的に基本計画策定期の令和3年度と同時期になったのか。このあたりを整理した方が、読む市民の方は、わかりやすいのかなと思いました。2段目の、状況というところは、言葉が重なっているので、「一概に評価できない中で、各施策の効果を紐づけることも難しい状況である」と、このような部分も整理されるといいのかなと思いました。

資料1の4ページ目以降の話になりますが、基本目標1の総評と数値目標の評価となっています。就業者数の推移というところで、細かく文章が書かれています。何かワンポイント、節目をつけて整理して書かれると、読みやすいかなと思いました。評価としてはどうだったのか、例えば、多摩地域の就業率は低迷しているとか。その下の、就業者の従業上の地位については、子育てと仕事の両立が図られる環境整備が課題となっているなど、このように、文章の中から抜粋した要約をそれぞれのところに入れられると、読み手としては、就業者はどうだったのか、まだまだ課題が多いのかというのが、わかるのではないのでしょうか。7ページ以降も、そのような形で整理していくと、読み手は理解しやすいのかなと思いました。

事務局・・・ 総評につきましては、次期総合基本計画をまとめていくにあたりまして、令和元年度の状況がどうだったのか、コロナ禍の影響を踏まえてどうなったのかを、委員会の資料としてまとめたものでございます。従いまして、市民に公表をするために、資料作成をしているものではございません。

現行の総合戦略、当初は平成31年度までを計画期間として作成されてきました。それが、総合基本計画の策定期と合わせるため1年延伸をし、令和2年度に策定予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、さらに1年延伸をかけて、総合基本計画と総合戦略は、令和3年度に策定することになり、現在作業を進めているところです。こちらの部分と併せまして、先ほどの4ページ目以降の書きぶりについては、委員会の資料ということではありますが、わかりやすい内容として整理を進めていくよう調整をさせていただきたいと思います。

水野委員・・・ 今のままでも図や表とか入れて、わかりやすいと思いますが、要約についてはご検討いただければと思います。

委員長・・・ 今までの総合戦略では、報告書をまとめてきました。今回どのような形になるかわかりませんが、読めばわかるような形でまとめていただいた方が良いのではないかなと思いますので、よろしくお願いいたします。

事務局・・・ 例年ですと、総合戦略では推進検討委員会においてKPIを含めた形で、細かい事業を評価していきながら、報告書としてまとめて、議会に報告をしてきた経過がございます。ただ、今回につきましては、次期総合戦略策定期と重なるということで、基本的には村山課長から説明をした通りとなりますが、今後、基本目標ごとに位置付けていく具体的な事業とか、KPIを検討する中では、前期の総合戦略の評価は必要になってくるのかなと思います。そのため、次期総合戦略の策定と併せて、これまで議会等で説明してきた経緯もありますので、本総評の取扱いについては、再度事務局で検討をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

富名委員・・・ KPIに関しては、数値目標的なものはないのでしょうか。一般的には、10%増を目指すとか、数値目標にする認識だったのですが、それはまた他の部分であるのでしょうか。

事務局・・・ 大きな基本目標ごとについては、長期的に検証をしていかなければいけないということで、ここの部分は文言表記というか定性的な目標設定とさせていただいております。ただ、前回の資料でお配りしました、ここでぶら下がってくる施策体系ごとの事業の中では、事業ごとにKPIを設定して、評価をいただいていたところであります。付け加えて言うと、令和元年度、2年度における事業が新型コロナウイルス感染症の影響を受けて一部中止となり、これまで通りの評価が出来ていないということで、今回まとめとしては、総評のところで、まとめさせていただいたという形になってございます。

委員長・・・ 前回の資料になりますが、事業ごとにKPIが定められていまして、目標値があります。今回、総評のところにあります基本目標については、いわゆる人口とか、目指してもそう簡単には上がらないものとか、そういうものも含まれますので、ある程度大きな指標として、判断材料として、このようなものを見ているという認識かなと思います。

富名委員・・・ 確かに前回の資料で、事業ごとにKPIが書いてあったと思います。それであれば、先ほどのご指摘のとおり、各基本目標の総評部分における文章が長めなので、KPIの数値が何パーセントの減少とか、達成している、していないをぱっと見てわかるというように書いてある方が、わかりやすいのではないかなと思いました。

委員長・・・ 文章での丁寧な説明がありますが、水野委員の指摘にもありましたように、まとめるか、または強調ですよね。文章の中で数値目標に関わってくる、できた、できない部分については、場合に寄っては、下線を引いたり、太字にするよう工夫をしていただいた方が、ぱっと見わかりやすいのかなと思いますね。

事務局・・・ 総評部分につきましては、今回いただいた意見を参考に、書きぶりや表現について、調整させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

富名委員・・・ 資料2の5ページ、この数字自体からの分析はされていると思うのですが、「多子世帯数の増加を目指す」のところで、先ほど減少傾向と説明がありましたが、一方で働く女性が増えているということが良いという説明がありました。働く女性が増えることで、実際2人目以降の出産を控えてしまう懸念があるように思いました。そういった観点を含めて、そのあたりは何か関連性や分析とかはしているのでしょうか。

事務局・・・ ここの基本目標3の部分については、若い世代の、結婚・出産・子育ての希望を叶えるということで、継続した支援というところになっています。確かに出生数は、多子世帯も含め、減少傾向にはありますが、出産して子育てしながら、安心して働ける環境ということで、この保育所ですとか、学童クラブというところが、関連付けて取組に位置付けているというところになっています。今後、人口

減少社会の中では、生産年齢人口は減少していきますので、働きたいという女性の方においては、以前分析した時には30代の女性の就業率が下がる、いわゆるM字曲線の解消ですとか、そういったことを目指しながら、かつ子育てできるような環境づくりをしていきたいというのが、ここの基本目標になっておりますので、よろしくお願いいたします。

富名委員・・・ 基本的には育てやすい環境としては、保育所をつくるとか、待機児童をなくすであったりしますが、補助的な部分では検討はされているのでしょうか。例えば、子どものいる家庭に対しての金銭面での経済的な支援や、高校生までは教育費の負担を軽減させて進学できるようにする環境をつくるとか。

委員長・・・ 具体的な事業の内容になるかと思いますが、今はそういった事業はありますか。

事務局・・・ 今実際の取組の中では、指定寄付金等を活用しながら、奨学金の返還不要な設定とかをしているところもあります。財源があってできることでありますので、一番どこに力をいれていくかというところでは、保育待機児童の解消というところに市は力を入れています。そのため、金銭的な支援策というところには、至っていないというのが現状でございます。

委員長・・・ 富名委員のご指摘部分は非常に大事で、ただ難しいところですね。出生数が増えて、働く女性が増えていったら、当然保育園に通う子どもが増えて、待機児童が増える。待機児童を解消しようとして取組を進めて、それが追いつくとまた別の課題が生じてくるという、この指標の連鎖みたいなものがあるので中々難しいのですが、ここは事業のKPIとは違うところかと思います。全体の数字の繋がりを見ながら、政策的にどういうバランスが良いとか、どこにお金を優先的に使っていくのかということを考えていながら、そのような数値の見方をしていかないと、全てを一気に達成するというのは、中々難しいところがあると思います。その中で、現実的にできる事業は何なのか考えていかなければならないのかなと思います。

前任の大塚委員にもお聞きしましたが、雇用の部分というのは、コロナで昨年度よりさらに厳しくなっているのではないのかなと思いますが、実際はいかがでしょうか。

永田委員・・・ 数値を出していただきました有効求人倍率の直近の数値について、令和3年6月が出ていますが、全国では1.13倍と全く変わっていません。ところが、東京都では1.15倍となっており、さらに下がっています。ハローワークに来る方、朝一で来て、新着の求人情報だけ見て帰られる方が結構いますが、情報が変わってないと言って帰られる方が比較的多い状況になっています。また、求職者の状況というところでは、失業率自体は雇用調整助成金により、休業という状態で失業には至っていない方々が沢山いる状況もあり、極端に失業されている方が増えている、ハローワークに来る方が増えている、という状況ではございません。逆に、今回新型コロナウイルス感染症の影響より、女性の非正規の方がハローワークへ来ていない状況となっています。ハローワーク立川では、マザーズハローワーク立川というのを運営してまして、以前利用した方に電話をしてみると、

今はコロナだから動きたくないという声を聞いています。よって、今は活動控えと、失業の状態ではあるがハローワークを使っていないという方が実際にいる、という状況になっています。

委員長・・・ ありがとうございます。そういった数字からは見えない状況というのがあるのですね。どうしても数字だけで判断するというのは、特に生活という面では中々できないと改めて感じますが、そういうものを皆さんの市民感覚でどうなのかとか、こういう方法がいいのではないのかな、という意見を頂くのがこの委員会の役割なのかと思いますので、是非よろしくお願いします。

(3) 次期総合戦略における基本目標・基本方針について

委員長・・・ それでは、今日の本題というところで、議題③「次期総合戦略における基本目標・基本方針について」事務局より説明をお願いします。

事務局・・・ 議題③について説明をさせていただきますので、資料3をご用意ください。基本目標1～4につきましては、前回の本委員会、及び7月30日に開催をしました庁内検討委員会における意見に基づき、事務局で検討を行い一部修正させていただきました。内容自体に大きな変更はありませんが、赤字が今回の修正部分となっておりますので、こちらの説明をさせていただきます。

まず、基本目標1についてです。

現状の⑤の部分では、現在、働き方の価値観が多様化しており、具体的な内容を記載するという観点より、今回は「創業、副業、フリーランスなど働き方の価値観が多様化している」と修正をさせていただきました。

次に、右側のページ、2. 施策内容(2)の部分については、以前この「創業支援」の部分に「まちコン」と記載されていましたが、今回、まちコンは事業自体がなくなりました。そのため、ただいまの説明のように現状⑤の部分における創業との記載も踏まえまして、今回はこちらに「創業支援」と修正をさせていただきました。

続きまして、基本目標2についてです。

まずは、タイトル部分ですが、今回「昭島の魅力を再発見する」から、「昭島の魅力を発信する」に修正いたしました。こちらは、本委員会でも何度か議論をさせていただきましたが、「再発見だと、内向きへの働きかけを強くすることで、外向きへの働きかけが弱くなるのではないか」また、「単純に発見、発信だけでもいいのではないか」等のご意見をいただきました。よって、こちらについては、魅力を「発信する」という表現に変え、魅力を発見、もしくは再発見して、それを発信していくという視点をより強める形から、このような目標といたしました。

次に、現状②の記載部分についてですが、こちらは水と緑における言及部分となりますが、文言の順番を整えたことと、水における部分で、「多摩川」を追記いたしました。また、こちらは総合基本計画にある記載の内容より引用し、今回は「深層地下水100%の水道水をはじめ、多摩川や玉川上水、清らかな湧水、緑が連なる立川崖線など、水と緑の環境に恵まれている。」という内容に修正をさせていただきました。次に、右ページの基本的方向の(3)と(5)についてです。(3)につきましては、「情報の発信は外だけでなく、中に向かって行うことで中の人に対しても魅力を伝える。そして、外には、市からの発信に加え、中にいる人からの直接発信ができるような流れを作る取組を推進したほうが良い」

というご意見がございました。このような視点をもとに、今回は「市内在住者にも本市の魅力を再認識してもらい、昭島の「良さ」を実感する中で、シビックプライドが生まれ「住み続けたい」と思ってもらくとともに、市の魅力を市外へ情報発信してもらう取組を推進する。」と修正をいたしました。（５）につきましては、今まで、水と食育を繋げる施策展開についての記載がございませんでした。こちらにつきましては、総合基本計画の部分でも言及しているため、その内容を参考に、今回はこのように「学校給食における地場野菜の使用率を高めるとともに、地域の生産者から農業について学習する機会を設けるなど、食育を推進する。」という記載を追加いたしました。

続きまして、基本目標３の基本的方向の（３）についてです。

（３）については、０歳児の親御さんの支援、ICT環境における観点から、修正を加えて、今回は「０歳児から子どもを預けられる環境の整備やICT環境の整備を含め学校教育の充実にも努める中で、安心して子育てできる環境の整備に努める。」といたしました。次に、２．施策内容の（１）と（２）についてです。

（１）では、以前こちらには、先ほども出てきました「まちコン」の記載がありましたが、現在、まちコンに代わる事業がなく、今後の課題となっております。市の意識調査の中では、結婚に結びつかない要因の一つに、経済的理由があげられており、このような要因を解消するという視点から、今回「多摩ものづくりチャレンジ事業」として修正をいたしました。（３）につきましては、「小中高の子どもの健全育成と、地域が子どもをつくり支えるということが重要である」とのご意見を頂きました。こちらについては、この青少年という言葉の中に、小中高の子どもも含むという意味で、表現の方はこのように記載をさせていただき、また、前回の総合戦略同様、具体的な事業展開の中で、「青少年の健全育成」について取組を進めていきたいと考えております。

続きまして、基本目標４の基本的方向⑤についてです。

こちらは事務局として、本市の地域特性の言及が少なかったことと、本市の魅力である地域特性をもっと前面に出してもいいのではないかとという視点などから、総合基本計画への掲載内容に基づきながら、今回は「本市は、都心部へも奥多摩の森へもアクセスしやすい都市環境と、水と緑の自然環境に恵まれている。また、コンパクトな市域の中には、大規模な開発による新たな街並みとともに社寺や文化財なども多く存在し、伝統文化や歴史的行事が脈々とひきつがれている。こうした環境は、昭島の地域特性であり、今後は、これまでの地域特性を活かしたまちづくりに加え、時代の変化を的確に捉える中で、今後の地域コミュニティのあり方についても検討を進める。」という内容に修正をさせていただきました。

続きまして、昭島市総合戦略の全体像の図に移らせていただきますので、資料４をご用意ください。こちらは、基本目標４の配置についてご意見をいただきました。今回このように、基本目標４を真ん中に位置付けまして、基本目標１から３が循環し、総じて基本目標４に繋がるという視点を重視し、再作成をしております。ご確認いただければと思います

以上が、議題３「基本目標・基本方針」についての説明となります。よろしくお願いたします。

事務局・・・ 今事務局の冒頭の説明に、庁内検討委員会で検討をして修正を加えたと説明がありましたが、前回この委員会で出た意見を踏まえて、庁内検討委員会に諮り、修正を加えたということです、ご理解いただければと思いますので、よろしくをお願いします。

委員長・・・ 皆さんの意見踏まえて修正をした内容となっていますが、何かご意見などいかがでしょうか。

富名委員・・・ 深層地下水というのは、長い期間ずっと持つのか、それともこのくらいで枯渇する可能性があるとか、そのような状況はわかるのでしょうか。

事務局・・・ 昭島の深層地下水と言うのは、地表から 150～200m と深いところから汲み上げており、現在水道部で水脈調査等を行っていますが、結構な流れ込みがあるということで、我々の世代では枯渇するような状況ではないと伺っています。ただし、限りある自然の水資源なので、長い目でみると節水しながら、この深層地下水を次世代に引き継いでいかなければならないのかなというところで考えております。また、この総合戦略もそうですが、最上位計画となる総合基本計画も、やはり恵まれた深層地下水 100% の水資源を含めて、緑の環境は次世代に繋げていこうということで、環境との共生をまちづくりの理念に掲げているところでございます。

富名委員・・・ そのような観点では、基本目標 2 と 4 は水と緑を維持するというのがありますが、水が昭島にとってキーワードになっていて、その観点からすると保全という目標みたいなのは、この中で記載はあったほうが良いのか、それとも今のままでなくてもいいのかという点についてはどうでしょうか。

事務局・・・ こちらの、総合戦略における目標と言いますと、水と緑の環境を保全していくことで、総じて転入超過を目指すことや、昭島への愛着度をあげていくというような視点で、目標設定をしているところです。目標達成に向けた具体的な事業ということで、今後総合戦略につきましては、事業の検討をしていきたいと考えております。

委員長・・・ おそらく保全という視点からいくと、基本目標 4 が全体にかかる基盤のような目標となっていて、その中で、自然環境の調和とか、自然環境を次世代に引き継ぐとか、そういった文言が入っていますので、おそらく先程ご指摘があったような、昭島にとって非常に大事な水というのも、ずっと大事にしていくというのは、ここである環境との共生というのがポイントになるのかと思います。

富名委員・・・ 人も増えて、木山を削り誘致した工場も増えてくると、消費しかない割に環境共生は相反する部分があるというか、それに対して保全していける何か指標なり目標なりを入れていくとかについては、いかがでしょうか。

事務局・・・ 付帯する事業というのは次回以降で検討しますが、現行の総合戦略では、保全の部分で言えば、例えば雨水浸透施設の設置ですとか、雨水貯留槽の設置の助成

とか、そういった付帯の事業がありますので、このような事業をもとに KPI を含めて、検討を進められればと考えております。

勝見委員・・・ 基本目標 2 の基本的方向性の（5）について、学校給食における地場野菜の使用率を高めると言うことや、食育の推進と言うのは、とても歓迎すべきことであると思います。しかし唐突に、今までなかった学校給食におけるという文言が、ここにそぐわないような気がしました。昭島の学校給食のセンター二つが、ここ 2、3 年で委託されるという中で、なぜここで、学校給食におけるという内容になるのか。委託するから、ここで推進をするという意味で捉えてしまっていますが、このあたりはいかがでしょうか。

事務局・・・ （5）については、地元の農業者からの地場野菜の活用という部分も、一つの魅力になるのではないかといいところ、ご意見をいただいたと記憶しています。そうした中で、付随して学校給食における活用というような意見も出てきたのかなと思います。学校給食というのが冒頭にきているのが違和感あるといふところなので、ここは文章を整理するよう検討をしていきます。なお、学校給食にあっては、今まで地場野菜を使ってきたわけではないわけではなく、継続してやっていくということで、改めてここで書き込みを加えたといふところですので、委託との関連はございませんのでよろしくお願いします。

勝見委員・・・ それに関連してですが、食育推進というのは健康あきしま 21 で食育推進計画を兼ねるといふことで、昭島市の HP にも記載がありました。そういうことであれば、例えば健康あきしま 21 の中では、妊婦、子ども、児童、生徒、大人への食育と総体的に書いているので、学校給食とは特化せずに、総体的に食育推進の地産地消の取組を進めると記載していく方がいいのかなと思いますが、いかがでしょうか。

事務局・・・ 今ご意見をいただきましたそちらの整合についても確認をしながら、書きぶりについては調整していきたいと思ひます。

委員長・・・ 基本目標 2 は、昭島の魅力を発信するといふ言葉になっていますが、外だけではなく中に対するといふ、シビックプライドといふ言葉もここには記載があります。それこそ子ども達とか、中の住民の人とたちに、その魅力を理解してもらふといふところも含まれますので、その意味で、この地場野菜を学校でといふ観点かもしれないが、そのあたりの書きぶりも含めて、お願いできればと思ひます。

富名委員・・・ 基本目標の 4 の数値目標について、この部分だけ、数値で 80% 以上と具体的な数値を掲げているのは、何か集計上の関係なのでしょう。

事務局・・・ 数値目標については全体とのバランスを考えながら、具体的な数字についても調整をしたいと思います。

委員長・・・ こちらの、数値目標といふのは、この言葉が誤解を生むのですよね。基本目標の達成状況を確認、評価するための数値といふか、目に見える形での数値の状況といふ部分なのかなと。どういふ言葉で、説明するのがいいのかといふところも

あるので、数値目標で言うと、具体的な 100 とか 80 とか、そういうものをイメージしてしまうので、ここは、数値目標という項目の表現を少し変えた方が、皆さんわかりやすいのではないかなと思います。

樽松委員・・・ 基本目標 2 ですが、昭島の魅力を発信するとありますが、課題②で、市民意識調査では、市の宝である「深層地下水 100%の安全で」と書かれています。確かに、おいしい水なのですが水道水しかなく、以前にこの会議でペットボトルの水をいただきましたが、あれは、すごく良かったので買いたいと思ったのですが、買う方法がなく、どこにも売っていません。ですので、昭島駅の北口とかで売るなどの方法を、できたら考えてほしいなと思いました。水道以外でその水を PR する方法はないのかなと思っています。

また、先週の土曜日夜 7 時から、テレビの 4 チャンネルで昭島が出ていました。30 分程の番組ですが、見ていてすごく感動をしました。カルガモの親鳥が 9 羽のこどもを連れて、市民会館の前から、線路などを渡って多摩川へ移動する内容でしたが、昭島の自然など出ていました。昭島の魅力を発信するのもそうですが、知名度を上げるということも大事だと思いますので、そのところをもっと具体的に考えていけたらなと思っています。

委員長・・・ それは、何の番組でしょうかね。いずれにしても、水、自然といった魅力の発信方法についてだと思いますが。

事務局・・・ 先程の番組名については、「みんなの動物園」というテレビ番組で放映されたと認識をしています。昭島の水アルミ缶ですが、水道事業会計では商品化して販売するということできませんので、市としては、イベント等での PR 用でお配りするという形で、取組をさせていただいております。ここで、拝島駅から東中神までの駅前のところに、「ちかっばー」のデザインの給水スポットを設置しまして、昭島を訪れる方に飲まれています。また、小中学校のお子さんたちが喜んで給水されていると聞きまして、嬉しく思っております。今後、このようなところも含めて PR していきたいなと思っております。

委員長・・・ 昭島には、非常に大事な水がブランドとしてあると思いますが、発信方法には様々な方法があるのと、テレビのために取材してもらえるような呼びかけなど行うことも、必要なかなと思います。

石川委員・・・ 基本目標 3 の数値目標のところで、婚姻数の増加、出生数の増加、保育所入所待機児童数の解消を目指すと思いますが、市民の感覚としては、預けられるイコール安心というわけではなく、子どもを育てていくうえで、不安に感じることや困ったこととかが起きた時に、安心して相談に乗ってくれる窓口が充実していますよ、というところを考えていただきたいなと思います。私のところには、困って行政側に助けを求めた時に、適切なアドバイスを貰えなかったとか、窓口でたらい回しにあったなど意見がとても寄せられているので、預けられるところだけ増やせば良い、ということではないと思います。子育て世代が安心して、と書かれているので、このようなことを踏まえて考えていただければと思います。それと、基本的方向の部分に、0 歳児から子どもを預けられる環境の整備と書かれています。私のところには、1 歳児からが預けられないという声が寄せられてい

ます。0歳の子でいっぱいになってしまい、1歳児から入れないから0歳児から預ける、という意見が沢山きています。定員と言う意味で、0歳枠がいっぱいなので、1歳からは募集はしめんと断られてしまう。できましたら、1歳児から預けたい方は、1歳児から預けられるというように、各年齢希望に応じて預けたい時から、預けられるというようにしていただきたい。流動的に定員を調整できるようなシステムを取入れていただければと思います。

事務局・・・ 保育所入所待機児童数の解消を目指すという部分では、預けられれば安心かと言えば、そうではないと思っています。当然、現行の総合戦略の中でも、安心して子供を育てながら働きたいという方については、安心して子供を預けられる環境と言う部分は整備していかなければならないと思っています。確かに、基本的方向（3）において、0歳児からという記載となると、捉え方によっては誤解を招くところもありますので、ここについては検討をさせていただければと思います。

委員長・・・ そうですね、ここは書きぶりで変えられる部分かなとは思いますが預けたいときに、預けられるというのが、一番良いことだと思います。

事務局・・・ 子育て期において、子どもを育てながら不安がある時には相談を受け付けられるように、子育て広場の充実も目指して整理を進めています。今後はこのようなところで、子ども、お母さん、お父さんと集まり、不安がある時は、担当職員が相談に応じられるような体制も整備しておりますので、このあたりは今後の具体的な事業の中でまとめていけたら良いなと思っています。

委員長・・・ 結婚の希望を叶える環境づくりの中に、「多摩ものづくりチャレンジ事業」があるのは、何か違和感があるというか、当然働く環境があるという中で、創業支援とか、そういった文脈であることは理解しています。ただ、この文章だけを見ると、何で結婚なのに、ものづくりチャレンジなのかなって思われてしまうので、こちらは、何となく書きぶりについては、考えていただいた方がいいのかなと思います。

ほぼ皆さんにとって、合意できた部分あれば、それを踏まえて、今後は具体的な事業の中身の話に入ってくるのではと思いますが、よろしいでしょうか。

（4）今後のスケジュールについて説明

委員長・・・ それでは、議題の④、今後のスケジュールについて、事務局よりお願いします。

事務局・・・ 今後のスケジュールについて説明をさせていただきますので、資料5をご覧ください。資料5では、令和3年度のスケジュール表になります。次回の委員会は10月を予定しております。この後、次期総合戦略の策定では、次の段階として各基本目標における、具体的な事業・施策を選定し、決めていく作業となります。8月9月で、各担当課より具体的な施策・事業の提出を頂きまして、10月の本委員会で、出された具体的な事業について、掲載の有無などを含め検討をしていきます。そして、11月の各検討委員会において事業を固め、12月に全体のまとめ・報告を行っていくという、スケジュールで考えております。なお、担当各課へは、過去のKPIの達成状況を振り返っていただき、今後も行っていく事業、今度どう

していくか問われる事業、今回新たに実施計画に掲載をした事業など、事業選定にあたりましては、過去の達成状況などを十分に踏まえながら、しっかり洗い出しを行うよう依頼をしているところでございます。今後、必要に応じて、事務局と担当課で調整を行いながら、施策の検討を進めていきたいと考えております。

委員長・・・ こちらのスケジュールにつきまして、何かありますでしょうか。

4 その他

①第6回昭島市総合戦略策定検討委員会について

委員長・・・ それでは、その他の次回の委員会開催について、事務局から説明をお願いします。

事務局・・・ 次回の委員会の開催は、10月を予定しております。時間は、午後6時30分から、場所は、市役所市民ホールを予定しております。また日程が決まりましたら、開催通知等を送付させていただきますので、よろしくお願いいたします。

5 閉会

委員長・・・ 委員の方から、何かありますでしょうか。特にないようですが、おかげさまで、少しいつもとより早く進行できまして、ありがとうございました。本当、こういう状況ですので、皆さん気をつけてお過ごしいただければと思います。では、以上で第5回総合戦略策定検討委員会を終了したいと思います。ありがとうございました。